

# 牛の暑熱対策



南丹の7月の平均気温は、1980年代に比べて約3℃も上昇しています。一方、牛の体格は大きくなり、身体に熱をため込みやすくなっています。

特にこれからの時期は、以下の点に注意して牛の健康を守ってください。

- 扇風機で風を送るときは、首から肩にしっかりと風が当たるようにしましょう。
- 牛舎周辺の草を刈り、風通しをよくしましょう。
- 暑熱ストレス下ではビタミンAの要求量が増えます。特に肥育牛では、欠乏症に注意しましょう。
- 屋根を白く塗ると、牛舎内の気温が下がります。
- 常に新鮮で冷たい水がたっぷり飲めるようにしましょう。
- 給餌は涼しい時間帯に、また給与回数を増やして採食量低下に対処しましょう。



## ●熱射病かなと思ったら・・・

気温の高い日に口を開けて速い呼吸をし、大量のよだれを流す牛がいたら、熱射病かもしれません。すぐに獣医師に連絡し、下記の応急処置を行ってください。

- ① 頭部以外の全身に20～30分以上水をかける
- ② 十分に水を飲ませる
- ③ 扇風機で風を当てる



京都府南丹家畜保健衛生所

TEL 0771-42-3308 FAX 0771-42-5117